

まなびの森



廿日市市立吉和小・中学校 校長通信

【第3号】R3. 6.28

校長 戸崎志乃婦

誰かのためにできること！

新年度が始まって3か月目に入り、各学級の授業や委員会活動が活発になってきました。前回の「まなびの森」で紹介した学級目標については、各学級がどのように取り組むかを発表し、日々授業や生活の中で、自分達が実行し、振り返りをしているところです。

また、各委員会活動では、児童生徒総会で発表した内容をそれぞれ取り組み始めました。

◇児童生徒会執行部…「あいさつ検定」

1学期の重点目標を「あいさつ」に決めました。あいさつは人と人をつなぐ第一歩です。現在しているあいさつよりもさらにレベルアップさせる取組をします。毎週水曜日はあいさつ運動も行っています。みんなのあいさつをはかる指標として「検定票」を作りました。それらを各クラスで毎日振り返ることで意識付けにつなげています。あいさつで声を出すことを出発点として、授業の発言やプレゼン等の発表、校内放送でも自信を付けてほしいと思います。



◇図書・文化委員会…「読み聞かせビデオ撮影」

図書・文化委員会の目標は、本に興味をもってもらうことです。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、各クラスで見てもらえるように読み聞かせのビデオ撮りをしました。それを朝の会の時間に各クラスで視聴してもらいました。今後は、図書館まつりなどのイベントも計画中です。



◇生活・保健委員会…「持ち物チェック表」

ハンカチ・ティッシュはもちろん、新型コロナウイルス対策のマスクや熱中症予防の帽子や水筒等、自分で身支度を整えて、自分で自分の体を守ることの大切さを理解してもらうために、全クラスで取り組んでもらっています。



…どの委員会の取組をみても、大切なことに全校のみんなに気付いてもらい、学校をもっともっとよくしていきたい気持ちがあふれています。

★SDG sにも取り組もう！

小学校3年生～中学校3年生までは、SDG sの視点で吉和のこれからについて、総合的な学習の時間で、真剣に考え、話し合いを進めてきました。SDGsとは「持続可能な開発目標」ということで、2030年に向けて世界が合意した目標です。本校では身近で自分達ができることとして「マイSDG s宣言」「エコキャップ回収」等を始めました。ご家庭・地域の皆様のご協力、誠にありがとうございます。



さらに吉和地域の皆様が考えてくださっている「吉和の未来を考える会」を見習って、話し合いを続け、具体的な企画を練っています。

全校児童生徒や学校のために取り組む委員会活動も吉和地域のことを考える総合的な学習の時間も「誰かのためにできること、何かのために役立つ自分」を児童生徒自身で育てていると実感します。これは生涯にわたって必要な力です。吉和小・中学校での9年間を終えると、それぞれの進路で新しい出会いが待っています。その時にも「誰かのために力を発揮したり、何かのために役立っている自分」に自信をもってほしいと思います。